

秋田県生涯学習センター

2024事業計画・2023事業実績

発行 令和6年4月

も く じ

令和6年度 秋田県生涯学習センターの事業 ～3機能のネットワーク化による地域及び現代的課題解決へのアプローチ～

1 シンクタンク機能

「障害者の生涯学習」に関する調査研究の推進

- | | | |
|---|---|-----|
| (1) 調査研究の推進・拡充 | … | 1～3 |
| □ 「障害者の生涯学習」に関する調査研究（6年次）の推進
（「障害者の生涯学習」に関するこれまでの主な取組） | | |
| □ 社会教育状況調査の実施 | … | 4 |
| (2) 多様な主体との連携・協働 | … | 5 |
| (3) 運営委員会の開催 | … | 6 |

2 研修・人材育成

「持続可能な地域づくり」を目指す研修・支援の推進

- | | | |
|---------------------------------|---|------|
| (1) 研修事業の推進 | … | 7～10 |
| (2) 市町村等の課題解決に向けた取組への支援 | … | 11 |
| (3) 障害者の生涯学習に取り組む生涯学習団体への支援（新規） | … | 12 |
| □ 生涯学習団体への支援 | | |

3 学習活動・情報発信

県民の生涯学習機会と学習情報発信の充実

- | | | |
|---------------------------------|---|----|
| (1) 県民の生涯学習機会の充実 | … | 13 |
| (2) 学習活動等の情報発信の充実 | … | 14 |
| (3) 「障害者の生涯学習」のための活動スペースの活用（新規） | … | 15 |
| (4) 展示スペースの活用促進 | … | 16 |
| (5) 学習相談の充実 | | |
| (6) 県庁出前講座の実施 | … | 17 |
| (7) 視聴覚教育の充実 | | |
| (8) 施設利用の促進 | … | 18 |
- 令和5年度 センター利用者数

【主な資料について】

※ 秋田県生涯学習センターWebサイトを参照

- 令和5年度 障害者の生涯学習に関する実践紹介リーフレット
「障害のあるなしにかかわらず 笑顔で学べる場 つくってみた」
- 令和4年度 障害者の生涯学習に関する意識啓発リーフレット
「障害のあるなしにかかわらず 一緒に学べる場 つくってみた」
- 令和3年度 障害者の生涯学習に理解促進リーフレット
「障害者の生涯学習～共生社会の実現に向けて～」
- 2020 Research Report 「障害者の生涯学習」に関するニーズ調査
- 令和元年度 「家庭教育に関する調査」グラフで見る秋田の家庭教育
- 令和5年度 生涯学習・社会教育関係者研修実施レポート及び研究大会報告
- 令和5年度 家庭教育支援指導者等研修実施レポート
- 令和5年度 あきたスマートカレッジ講座内容報告 ほか

令和6年度

秋田県生涯学習センターの事業

～3機能のネットワーク化による地域及び現代的課題解決へのアプローチ～

本県生涯学習及び社会教育推進の中枢機関として、県民の生涯にわたる学習活動を支援するとともに、関係職員の資質向上を図り、市町村及び関係機関・団体との連携・協働による『「学び」と「活動」の橋渡し』に努め、持続可能な地域づくりの実現に寄与する。

シンクタンク機能

「障害者の生涯学習」に関する調査研究の推進

- ①調査研究の推進・拡充
 - 「障害者の生涯学習」に関する調査研究（6年次）の推進
 - ・市町村や特別支援学校、民間企業等との協働による、障害者の生涯学習充実のための仕組みづくりと波及
 - ・各地域における学習機会の企画と実施
 - ・新たな学びの場・学びのジャンルの開拓に向けた取組の実施
 - 社会教育状況調査の実施
- ②多様な主体との連携・協働
 - 民間企業等との連携・協働
 - 大学との連携・協働
 - 関係機関との連携・協働
- ③運営委員会の開催

研修・人材育成

「持続可能な地域づくり」を 目指す研修・支援の推進

- ①研修事業の推進
 - 地域課題や現代的課題（障害者の生涯学習・防災等）の解決に迫る関係職員研修の充実
 - ・新任職員等基礎研修
 - ・市町村・公民館職員専門研修
 - ・家庭教育支援指導活動推進員・地域連携担当教職員等研修
 - 県生涯学習・社会教育研究大会
- ②市町村等の課題解決に向けた取組への支援
 - 「学校・家庭・地域連携総合推進事業」にかかるオーダーメイド型社会教育主事派遣（6年次）の充実
 - 「障害者の生涯学習支援モデル事業」にかかるオーダーメイド型社会教育主事派遣（3年次）の充実
- ③障害者の生涯学習に取り組む生涯学習団体への支援

学習活動・情報発信

県民の生涯学習機会と 学習情報発信の充実

- ①県民の生涯学習機会の充実
 - 地域課題や現代的課題に迫るあきたスマートカレッジの充実
- ②学習活動等の情報発信の充実
 - 生涯学習情報紙及び生涯学習支援システムによる情報発信
- ③「障害者の生涯学習」のための活動スペースの活用
 - 障害者スポーツスペース
 - ・ボッチャ、バトミントン等
 - 地下スペース
 - ・ワークショップ、研修等
- ④展示スペースの活用促進
- ⑤学習相談の充実
 - 「ブルーの窓口」での相談業務
- ⑥県庁出前講座の実施
- ⑦視聴覚教育の充実
- ⑧施設利用の促進

1 シンクタンク機能

「障害者の生涯学習」に関する調査研究の推進

(1) 調査研究の推進・拡充

シンクタンク機能の中核となる調査研究は、本県生涯学習・社会教育推進の方向性を定め、現代的課題の解決につなげるために実施している。

□ 「障害者の生涯学習」に関する調査研究（6年次）の推進

障害の有無にかかわらず一緒に学ぶことができる場づくりに焦点を当て、市町村や特別支援学校、民間企業等と連携・協働したモデルとなる実践を行うとともに、個人や団体の活動を支援する体制を整える。

【具体的な取組内容】

- 調査研究委員会の開催（2回）
- オーダーメイド型社会教育主事派遣事業の実施（3年目）
- 特別支援学校、民間企業等との連携・協働による実践の推進
- 各地域における学習機会（講座等）の企画及び実施
- 新たな学びの場、学びのジャンル開拓に向けた取組の実施
- 生涯学習・社会教育関係者研修及びあきたスマートカレッジにおいて、市町村関係職員及び広く県民向けの研修・講座を企画し、学習機会を設定する。

※ 詳細は、令和6年度生涯学習・社会教育関係者研修年間計画及びあきたスマートカレッジ学習案内に掲載

（「障害者の生涯学習」に関するこれまでの主な取組）

☑ 1年次（令和元年度）

特別支援学校高等部及び卒業後3年以内の生徒の保護者を対象に、生涯学習に関する環境整備やニーズ等に関する調査を実施し、県内の状況把握に努めた。令和2年3月には、その結果を「概要版」として発行（2,300部）するとともに、現状把握のための関係団体ヒアリングを実施した。

☑ 2年次（令和2年度）

前年度調査のより詳しい分析及び聞き取り調査（特別支援学校及び就業・生活支援センター）を実施するとともに、調査結果から見えてきた課題に対応するために新たな視点（防災、障害者スポーツ）による講座及び職員研修を実施した。さらには、民間企業（10社）からなる協賛団体「ブルーS3」（ブルースリー）との協働により、「ブルーS3杯ポッチャ交流大会（R2.12）」を開催した。

☑ 3年次（令和3年度）

令和2年度の研究及び講座や研修等の実践を生かし、障害者の生涯学習についての理解促進を目的としたリーフレット「障害者の生涯学習～共生社会の実現に向けて～」を作成・発行（2,000部）した。また、3回の調査研究委員会を開催するとともに、昨年度の同会議で話題になった障害のある方、ない方が一緒に参加する「熟議」を2回（1回はオンライン開催）実施。さらに、協賛団体「あきたWith」（企業数が21社に増えて「ブルーS3」から名称変更）との共催により、「あきたWith杯ボッチャ交流大会（R3.12）」を開催した。

☑ 4年次（令和4年度）

『「障害者の生涯学習」の推進とつながりづくり～連携・協働や学びの場を創る実践に向けた仕組みの考案～』をテーマに掲げ、令和3年度作成のリーフレットの活用状況や内容の改訂等について話し合うための調査研究委員会を2回開催するとともに、新たな取組を展開した。

一つは、仙北市との協働（「オーダーメイド型社会教育主事派遣」を活用）により、障害の有無に関わらずともに学ぶことができる学習プログラムの企画・実践に努め、市町村のモデルとなる事業の開発に取り組んだ。

いま一つは、障害の有無にかかわらず意見交流をする熟議「みんなの思い イウベ・キクベ」、街歩きイベント（車椅子での街歩き）「アルクベ・イウベ・キクベ」を開催し、テーマに迫るための取組を実施。加えて、「あきたスマートカレッジ」では、県民の障害者の生涯学習に関する理解促進に向けた学習講座「障害のある方の学び～わたしたちのプレジャンプ（全4回）」を実施するとともに、生涯学習・社会教育関係者研修において、障害者の生涯学習に関する内容での研修を2回実施した。

その上で、これまでの取組の成果と今後の方向性を広く県民に伝えるための意識啓発リーフレット「障害のあるなしにかかわらず一緒に学べる場 つくってみた」（5,000部）を作成し、市町村等に配付した。また、秋田県教育研究発表会（総合教育センター）で研究成果を発表したほか、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターの社会教育情報番組「社研の窓」に当センターの実践が取り上げられ、令和5年度当初にWebサイトに掲載される予定。

さらには、3回目となる「あきたWith杯ボッチャ交流大会（R4.12）」を、当センター3階講堂に2つのコートを設置するかたちで開催し、12の団体が参加した。

☑ 5年次（令和5年度）

『「障害者の生涯学習」の推進とつながりづくり～連携・協働による学びの場を広げるために～』をテーマに、大学教授や障害者スポーツ関係者等による調査研究委員会を2回開催し、研究内容等について広く意見をいただくとともに、次のような取組を展開した。

2年目となる「オーダーメイド型社会教育主事派遣」では、市町の実態に合わせた協働スタイルでの取組を通し、市町に実践の仕組みを残すことを目標に事業運営に関するさまざまなノウハウを提供してきた。昨年度から継続する仙北市に

北秋田市と八峰町を加えた3つの市町と協働し、学びの場を広げる実践に取り組んだ。

仙北市は、仙北市中央公民館を核として市内の大曲支援学校せんぼく校、障害者支援施設「愛仙」との連携・協働により、障害の有無にかかわらず参加できる「せんぼく桜スクール」を定期的に開催し、スポーツや防災、和太鼓をテーマにした学びの機会を設けた。

北秋田市は、市教委生涯学習課が中心となり、生活支援センター「ささえ」や障害者支援施設どじょっこハウスとの連携・協働により、車椅子街歩きイベント「アルクベ・イウベ・キクベ in 銀座ストリート」や防災教室を開催し、ともに学べる機会を創出した。

八峰町では、町教委生涯学習課が中心となり、町内の障害者支援施設さくら園との連携・協働により防災講座を継続的に実施した。

オーダーメイド以外の取組としては、秋田きらり支援学校からの依頼を受けて、青年学級の企画・運営に携わり、このことをきっかけに、きらり支援学校卒業生有志が当センターとのつながりをもったことにより、卒業生が企画する交流イベントへの参画が実現した。

また、大曲支援学校寄宿舎防災研修や比内支援学校寄宿舎職員研修、特別支援学校副校長・教頭研修等の防災研修の講師を依頼され、障害の有無にかかわらず身に付けておきたい防災スキルの普及・啓発に努めた。

さらに、秋田青少年・障害者問題調査研究所からの依頼で、遠隔講座（ICT機器を活用した配信）の講師も務め、移動が困難な人たちに対する学習機会提供の試験的な取組にも関わった。

他県からの依頼によって講師を務めたものとしては、岩手県教委主催の「人づくり、地域づくり関係職員等研修講座」と遠野市主催「心のバリアフリー推進研修会（街歩きイベント）～アルクベ・イウベ・キクベ in 遠野」がある。

あきたスマートカレッジでは、県民の障害者の生涯学習に関する理解促進に向けた学習機会として「障害者の生涯学習講座～学びのドアを開けよう～（全4回）」を実施するとともに、生涯学習・社会教育関係者研修においては、障害者の生涯学習に関する内容での研修を2回実施した。

その上で、これまでの取組の成果と今後の方向性を広く県民に伝えるための実践紹介リーフレット「障害のあるなしにかかわらず 笑顔で学べる場 つくってみた」（5,000部）を作成し、市町村等に配付した。また、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターの社会教育情報番組「社研の窓」に当センターの実践が取り上げられ、Webサイトに掲載されている。

さらには、4回目となる「あきたWith杯ポッチャ交流大会（R5.12）」を、当センター3階講堂に3つのコートを設置するかたちで開催し、16の団体が参加した。

□社会教育状況調査の実施

市町村の生涯学習・社会教育の現状を把握し、基礎資料とするための調査を令和元年度から当センターが担当しており、今年度も実施する。

(2023実績及び調査結果等)

障害者の生涯学習に関する実践紹介リーフレット（A4判4ページ）について

タイトル「障害のあるなしにかかわらず 一緒に学べる場 つくってみた」

・作成部数 5,000部

・主な配付先 市町村教育委員会、小・中・義教・高・特支学校、福祉関係事業所、文部科学省等、近隣県教育委員会等

令和5年度「社会教育状況調査」

県内の市町村の生涯学習・社会教育の現状を把握し、基礎資料とするための調査を7月に実施し、生涯学習課へ報告。結果は「施策の概要」に掲載。

「家庭教育に関する調査」について

令和元年度に県内幼稚園・保育所及び認定こども園、小、中、高校の幼児・児童・生徒（抽出）の保護者に対し調査を実施し、「グラフで見る秋田県の家庭教育」と題してダイジェスト版の報告書を作成した。

令和2年度には、その詳細について分析し、考察を加えて報告書を完成させ、当センターWebサイトで公開している。

(2) 多様な主体との連携・協働

□民間企業等との連携・協働

調査研究等に関する取組、各種研修等の企画・実施に際し、民間企業等とのコラボレーションにより内容の充実を図る。

□大学との連携・協働

各種研修等の企画・実施に当たっては、これまでの取組の成果を生かし、秋田大学、日本赤十字秋田短期大学等との連携・協働を継続・強化する。

また、秋田大学教育文化学部等の授業（社会教育関係）を担当することにより、職員の資質向上を図るとともに、当センターのシンクタンク、研修・人材育成、学習活動推進・情報発信の3機能充実の一助とする。

□関係機関との連携・協働

国及び県機関、県立学校、市町村立学校等との連携・協働に努めるとともに、市町村との協働による実践研究に取り組む。

(2023実績)

☑民間企業等との連携

- 「あきたWith」（現在37社が加盟）との連携・協働により、第4回ボッチャ交流大会を令和5年12月17日（日）に開催。過去最高の16チーム、76名がエントリーして盛大に実施された。（会場は、当センター3階講堂）

☑大学との連携

- 東京大学史料編纂所からの講師派遣
東京大学史料編纂所の研究者が、様々な史料に基づく研究の成果を直接県民に伝える講座（あきたスマートカレッジ「東大史料編纂所協力講座」）を5回にわたり開設した。
※ 5回すべてリモートにより実施
- 秋田大学教育文化学部「社会教育経営論Ⅱ」「社会教育計画Ⅱ」の講師を担当
※ 後期授業の全15コマを担当

☑関係機関との連携

- 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
社会教育情報番組「社研の窓」に当センター「障害者の生涯学習」関係事業の実践が取り上げられ、令和5年度初めにWebサイトに掲載された。

(3) 運営委員会の開催

当センターの適正な運営と円滑な事業の推進を図るため、次のような委員を選任し、年2回の委員会を開催する。

○任期 : 2年 (R6.4.1~R8.3.31)

○委員 : 7名

- ・生涯学習の実践者
- ・生涯学習センター関係者及び利用者等の代表
- ・市町村教育委員会等の代表
- ・生涯学習・社会教育関係団体の代表
- ・学識経験者
- ・マスコミ関係者

(2023実績)

第1回運営委員会

- 1 日時 令和5年7月5日(水) 午後1時30分から3時まで
- 2 場所 生涯学習センター 視聴覚室
- 3 出席者 運営委員5名 生涯学習センター職員9名 生涯学習課2名
- 4 案件
 - (1) 前年度の事業報告と今年度の主な事業計画について
 - (2) その他
- 5 その他

※ 議事録はセンターWebサイトに掲載

第2回運営委員会

- 1 日時 令和6年1月23日(火) 午後1時30分から3時まで
- 2 場所 生涯学習センター 視聴覚室
- 3 出席者 運営委員7名 生涯学習センター職員11名 生涯学習課2名
- 4 案件
 - (1) 今年度事業の実施状況について
 - (2) 来年度の主な事業等について
 - (3) その他

※ 議事録はセンターWebサイトに掲載

2 研修・人材育成

「持続可能な地域づくり」を目指す研修・支援の推進

(1) 研修事業の推進

地域課題や現代的課題（障害者の生涯学習・防災等）の解決に迫る関係職員研修の充実

○年間研修テーマ「人づくり・つながりづくり・地域づくりの好循環を目指して～ゆるやかなネットワークによる社会教育の充実～」

【生涯学習・社会教育関係者研修】

□新任職員等基礎研修【必修！社会教育行政の役割と可能性】

○講話『「社会の要請」にこたえる社会教育を目指して』

○講話「現代的な課題への切り込み方」

5月9日（木） ※YouTube限定配信開始日

□第1回秋田県地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修会

【実践演習！「熟議」をファシリテート】

○講話『「熟議」とは～参加型学習における位置づけとその重要性』

○演習『「熟議」を体験しよう』

○講話「ファシリテーターに必要なスキルとは」

6月19日（水） 会場：生涯学習センター

□第1回市町村・公民館等職員専門研修【公民館と防災～避難所設営の実際を学ぶ～】

○講義「避難所設営の考え方」

○ワークショップ「避難所設置リアル体験」

7月24日（水） 会場：生涯学習センター

□第2回市町村・公民館等職員専門研修

【障害者の生涯学習支援～車椅子の視点で街を見て、街を歩こう～】

○講義「バリア（社会的障壁）に向き合って」

○ワークショップ「障害者の視点による街歩き体験と協議」

8月28日（水） 会場：生涯学習センター

□第3回市町村・公民館等職員専門研修【防災を通じた地域のつながりづくり】

○講義「生涯学習センターの取組」

○講義・演習「地域のつながりを広げる防災の取組」

10月2日（水） 会場：生涯学習センター

【家庭教育支援指導者等研修】

○年間研修テーマ『学校・地域の「つながりの力」で保護者と子どもをサポートしよう』

□第1回「学校・地域との連携で家庭教育を支えよう」

○講話「つながりで支える家庭教育」

○協議・演習「つながりで保護者を支えるために」

○講話・演習「スクールカウンセラーの役割と家庭教育支援チームとの連携の可能性」

5月30日（木） 会場：生涯学習センター

□第2回「家庭での困り感や様々な課題に対応した家庭教育支援を進めよう①」

○講話・演習「保護者の声を聴くために大切なこと」

○講話・演習「気楽にふらっと～不登校・ひきこもりへの支援の実際～」

7月11日（木） 会場：生涯学習センター

□第3回「家庭での困り感や様々な課題に対応した家庭教育支援を進めよう②」

○講話・演習「子どもたちのネット利用に悩む保護者に伝えたいこと」

○講話・演習「発達に特性のある子どもをもつ保護者への支援について」

9月26日（木） 会場：生涯学習センター

□第4回「保護者と子どもを応援するために支援チームができることを考えよう」

○講話・演習『家庭教育支援を充実させる「つながりの力」』（仮題）

○協議「保護者と子どもを応援するために～つながりの力で自分たちができることは」

11月21日（木） 会場：生涯学習センター

【秋田県生涯学習・社会教育研究大会】

テーマ「人づくり・つながりづくり・地域づくりの好循環を目指して
～ゆるやかなネットワークによる社会教育の充実～」

○内容 / 講演・実践研究発表・協議 ※詳細は未定

11月12日（火） 会場：生涯学習センター

(2023実績)

【生涯学習・社会教育関係職員研修】 (のべ参加者数 225人)

- ☑ 新任職員等基礎研修 5月10日(水)から3週間 76人参加
テーマ「必修！社会教育行政の役割と可能性」 ※YouTube限定配信
・前半『「社会の要請」にこたえる社会教育を目指して
～よりよい社会教育を通じてよりよい社会を創る～』
・後半「現代的課題への切り込み方」

- ☑ 第1回地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員研修 6月21日(水) 78人参加
テーマ「実践演習！熟議をファシリテート！」

- ☑ 第1回市町村・公民館等職員専門研修 7月21日(金) 実施予定を12月15日(金)に延期 16人参加
テーマ『「学び」の場への住民の主体的参画』

- ☑ 第2回市町村・公民館等職員専門研修 8月30日(水) 30人参加
テーマ「公民館が地域のためにできること」

- ☑ 第3回市町村・公民館等職員専門研修 10月4日(水) 25人参加
テーマ「障害者の生涯学習×防災」

【家庭教育支援指導者等研修】 (のべ参加者数 165人)

- ☑ 第1回 5月25日(木) 45人参加
テーマ『持続可能な家庭教育支援について考えよう』
講話「保護者に寄り添う家庭教育支援」
意見交流「持続可能な家庭教育支援」
講話『「自分らしい子育て」への支援
～保護者に寄り添う支援の在り方について』

- ☑ 第2回 7月14日(金) 43人参加
テーマ『保護者の声を聴き、気持ちが前向きになるかかわり方やつながり方を学ぼう』
講話「学校との協働で進める子ども・保護者への支援～子どもや保護者の
思いを受け容れ、見守り、つなげ、支え合うために」
情報交換「学校との協働で進める子ども・保護者への支援」
講話・演習「やさしい傾聴とコミュニケーションについて」

☑第3回 9月21日（木） 38人参加

テーマ『地域やチームのつながりで家族を支えよう』

講話『絆の力で子どもと親の「育ち」を応援～自分たちではできないことをネットワークの力で～』

演習 同上

☑第4回 11月16日（木） 39人参加

テーマ『アフターコロナで増加する課題に対応した家庭教育支援を進めよう』

講話「子どものネット利用と大人の役割」

講話「子どもの貧困の現状と求められる支援について」

【秋田県生涯学習・社会教育研究大会】 ☑11月10日（金） 90人参加

テーマ「人づくり・つながりづくり・地域づくりの好循環を目指して
～ゆるやかなネットワークによる社会教育の充実～」

講演 「北広島市の社会教育行政と地域づくりマネジメント」

北海道北広島市教育委員会 教育部 部長 吉田 智樹 氏

実践研究発表① 地域課題解決に向けた「熟議」の活用

～秋田市白熊町内会・白熊未来会議との連携・協働～

秋田県生涯学習センター 社会教育主事 佐藤 隆道

実践研究発表② 学校教育と社会教育のつながりづくり

～「障害者の生涯学習」の取組～

秋田県生涯学習センター 社会教育主事 佐々木克巳

(2) 市町村等の課題解決に向けた取組への支援

市町村、学校等の課題解決に向け、依頼のあった市町村等にセンター職員が出向き、市町村等の職員と協働・研究して課題解決に取り組む。

□「学校・家庭・地域連携総合推進事業」にかかるオーダーメイド型社会教育主事派遣（6年次）の充実

□「障害者の生涯学習支援モデル事業」にかかるオーダーメイド型社会教育主事派遣（3年次）の充実

※ 事業予算 : 職員旅費、通信・運搬費、消耗品費

※ 事業の枠 : 生涯学習課所管の「学校・家庭・地域連携総合推進事業」及び「障害者の生涯学習支援モデル事業」の中で実施

(2023実績)

「学校・家庭・地域の連携・協働に関する取組」エントリー市町及び学校

大仙市(2)、小坂町(2)、三種町(3)、八峰町(2)、県立ゆり支援学校(5)

※ ()内は継続年数

4市町と1特別支援学校がエントリーし、学校運営協議会制度や地域学校協働活動の円滑な推進、導入準備、関係者研修の在り方等を主な課題として、協議、「熟議」等の開催、市町が主催する研修会での助言等を通して、関係職員や教員、地域学校協働活動推進員等への学習機会の提供等に努め、各地域の実情に応じた成果を上げることができた。

「障害者の生涯学習支援に関する取組」エントリー市町

北秋田市(1)、仙北市(2)、八峰町(1)

※ ()内は継続年数

障害者の生涯学習支援の視点で各市町生涯学習課及び公民館等が主催する事業に企画段階から関わり、域内の特別支援学校、障害者支援施設、生涯学習講座等との連携・協働事業に講師及びスタッフとして参画した。

(3) 障害者の生涯学習に取り組む生涯学習団体への支援（新規）

「障害者の生涯学習」の理念に則り、共生社会の実現に寄与することを目的に学習活動を展開する団体及び個人に対し、その活動の場を提供する。

対象となる活動としては「障害者の生涯学習」支援を内容とするもの、「障害者の生涯学習」について学ぶことを目的としたものの他、障害当事者・介助者の参加を積極的に受け入れる工夫のあるものが相当する。

□生涯学習団体への支援

県民に学習の機会を提供することを目的とした生涯学習団体に対する支援は、令和5年度末をもって終了し、令和6年度以降に研修室等を使用する場合は、「一般団体」としての利用申込みが必要となる。

なお、当センターを利用する生涯学習団体間のネットワークづくりを目的に令和3年度に実施した「秋田県生涯学習センター交流発表会」（12団体・60名参加）の今後の開催については未定。

(2023実績)

生涯学習団体活動支援の実績（1,723人）の内訳

☑秋田文学愛好会	6回	124人
☑古典文学に親しむ会	22回	200人
☑結の会	24回	87人
☑県生涯学習インストラクターの会	4回	106人
☑あきたエコマイスター県央協議会	9回	84人
☑俳句学習会「須磨句会」	12回	103人
☑あきた恵古塾	12回	40人
☑初心者のための太極拳の会	42回	744人
☑武術太極拳火曜クラス	24回	235人

生涯学習ボランティア団体活動支援の実績（95人）の内訳

☑生涯学習ボランティアグループ「ヤッホーの会」	11回	40人
☑生涯学習ボランティアコーディネーター「のぞみ」	15回	55人

3 学習活動・情報発信

県民の生涯学習機会と学習情報発信の充実

(1) 県民の生涯学習機会の充実

地域課題や現代的課題に迫るあきたスマートカレッジの充実

□カレッジ講座の実施

【無料講座】

□地域づくり分野

A 地域の取組学び講座～挑戦と新たな価値の創出～（6回）

6/1, 6/15, 7/6, 7/20, 8/24, 11/30

B 熟議ファシリテーター講座～「熟議」をつくろう～（4回）

6/15, 7/6, 7/20, 8/3

□現代的取組分野

C 障害者の生涯学習講座～学びを楽しもう～（4回）

9/14, 10/12, 11/16, 12/7

D 防災講座～命を守るために～（4回）

6/1, 6/22, 9/14, 10/12

【有料講座】 ※受講料は1講座につき440円

□教養分野

E 東大史料編纂所協力講座～日本史のなかの戦争～（5回）

8/31, 9/7, 10/5, 10/19, 11/2

F 北条常久特別企画講座～戦争と文学 平和を求めてみんなで考えよう～（5回）

6/29, 7/27, 9/28, 10/26, 12/14

□単位認定

生涯学習手帳を希望する県民に配付するが、所定の手帳以外にも学習記録がわかるものがあれば、それによって単位を認める。

所定の修得単位数に達した学習者のうち、希望者には次の称号を授与し、表彰する。

なお、令和3年度より生涯学習手帳の増刷は行わず、Webサイトからのダウンロードにより県民が同様のシートを取得できるようにした。

50単位修得	わか杉・マナビスト（児童・生徒に限る）	6人
100単位修得	ブロンズ・マナビスト	299人
300単位修得	シルバー・マナビスト	114人
500単位修得	ゴールド・マナビスト	79人
1000単位修得	プラチナ・マナビスト（論文必要）	10人
2000単位修得	プラチナ・マナビスト	0人

※ 令和6年3月31日現在のべ人数

(2023実績)

あきたスマートカレッジ参加者総数（376人）の内訳

【無料講座】

[地域づくり分野]

A 地域の特色学び講座～挑戦と創造～（3回） 34人参加

B サポーター養成講座～
～地域サポーターへのファーストステップ（4回） 26人参加

C 熟議ファシリテーター講座～私の「熟議」～（4回） 18人参加

[現代的取組分野]

D 障害者の生涯学習講座～学びのドアを開けよう～（4回） 20人参加

E 防災講座～防災は日常とともに～（3回） ※第1回中止 24人参加

【有料講座】

[教養分野]

F 東大史料編纂所協力講座～歴史を伝える手紙～（5回） 103人参加

G 北条常久特別企画講座
～子どもと一緒に楽しみたい児童文学～（6回） 151人参加

(2) 学習活動等の情報発信の充実

生涯学習情報紙及び生涯学習支援システムによる情報発信

○生涯学習情報紙の発行

「生涯学習センターだより」の発行（3回）

A4判 2ページ

(2023実績) 8, 10, 1月号 計3,600部発行

○秋田県生涯学習支援システム「まなびサポート秋田」の掲載情報の充実

生涯学習講座等の掲載

・講座・教室、講演会、催物・イベント

人材バンクの登録等

・講師、指導者情報 ・団体グループ情報
・ボランティア個人情報 ・ボランティアグループ情報

※行動人情報について → 令和2年度よりアーカイブとして公開

□生涯学習支援システム活用のための市町村職員等への研修等

・市町村職員等研修会の実施（2回）

(2023実績) 2回 2市町等 5人

・出前講座の実施

(2023実績) 0件

・市町村職員による登録（入力）

(2023実績) 4市町 1,238件

※ 秋田市、能代市、仙北市、横手市

(2023実績)

生涯学習講座登録件数 2,197件（前年度比 39件増）

人材バンク登録状況

総数 4,228件 [5件]

(内訳) 講師 755件 [5件]

団体グループ 3,268件 [0件]

ボランティア個人 166件 [0件]

ボランティア団体 39件 [0件]

※ [] 令和5年度登録件数

行動人情報

紹介人数 64,975人 ※ 令和2年度からアーカイブ化

講座情報へのアクセス状況

139,476件（月平均 11,623件）

(3) 「障害者の生涯学習」のための活動スペースの活用（新規）

「障害者の生涯学習」の理念に則り、共生社会の実現に寄与することを目的に学習活動を展開する団体及び個人に対し、その活動の場を提供する。

対象となる活動としては「障害者の生涯学習」支援を内容とするもの、「障害者の生涯学習」について学ぶことを目的としたもののほか、障害当事者・介助者の参加を積極的に受け入れる工夫のあるものが相当する。

□これまでの障害者スポーツスペースの活用等

令和元年度に設置し、翌2年5月にコートを整備したこのスペースは、一般利用（予約制）のために開放し、障害者スポーツ（ボッチャ、卓球バレー、バドミントン）の体験を通して、障害者の生涯学習に関する理解の促進に努めてきた。

また、令和3年度より「あきたセカンドスクール推進事業」の一環で、「障害者スポーツを体験しよう！（ボッチャ・卓球バレー・バドミントン）」というプログラムを設けており、今年度も、引き続き小・中・高校、特別支援学校の「総合的な学習の時間（探究の時間）」、道徳、体育、家庭科、福祉等の授業に対応する。

(2023実績)

- 障害者スポーツスペースの利用実績
- 「セカンドスクールの利用」の実績

58件	744人
0件	0人

(4) 展示スペースの利用促進

学習の成果を紹介することで、県民の生涯学習の振興に資するため当センターの1階エントランスホールや地下ホールを展示場所として個人・団体に提供する。

□展示計画 (予定)

- 5月 佐々木ひでお母を想う口筆詩画展
- 6月 癒やしのパステルAiryアート展
- 7月 色鉛筆で描く花と子供の風景
- 8月 地域学校展 (栗田支援学校)
- 9月 マーブルアート展
- 11月 秋田市民サービスセンター合同作品展(秋田市教育委員会生涯学習室)

(2023実績)

総観覧者数 (14,660人) の内訳

<input checked="" type="checkbox"/> 笹切りアート展 「緑と白の世界」	3,121人
<input checked="" type="checkbox"/> ハッピーすまいる♡ ～パステル和 (なごみ) アート展～	2,183人
<input checked="" type="checkbox"/> 栗田支援学校 地域学校展	1,678人
<input checked="" type="checkbox"/> 附属特別支援学校 作業製品・作品展	1,676人
<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスセンター合同作品展	3,009人
<input checked="" type="checkbox"/> 編物・シープ展	1,973人
<input checked="" type="checkbox"/> 蓮・人・つながる! 2023	1,020人

(5) 学習相談の充実

□「ブルーの窓口」での相談業務

学習相談員 (2名交代制) による相談受付 (すべての開館日で実施)
生涯学習ボランティアによる原則週2回の相談も併せて実施

(6) 県庁出前講座の実施

□ 3 講座を担当する。

(No.166 インターネットの健全利用について)

No.173 生涯学習のすすめ

No.174 生涯学習支援システム活用入門

(2023実績)

県庁出前講座参加者 (36人) の内訳

<input checked="" type="checkbox"/> No.165	家庭教育の充実	1回	10人
<input checked="" type="checkbox"/> No.166	インターネットの健全利用について	0回	0人
<input checked="" type="checkbox"/> No.173	生涯学習のすすめ ※うち1回はオンライン	2回	26人
<input checked="" type="checkbox"/> No.174	生涯学習支援システム活用入門	0回	0人

(7) 視聴覚教育の充実

□ 自作視聴覚教材コンクール

学習者の実態に応じた教材や地域に根ざした学習のための教材など、学びの多様化に対応した視聴覚教材の自作と活用を推進し、視聴覚教育の充実をはかることを目的に開催する。

最優秀賞受賞作品は、次年度の全国自作視聴覚教材コンクールに推薦する。

令和6年度(第74回) 審査・結果発表

令和7年2月20日(木)

(2023実績) 応募作品数9点 (最優秀賞1点・優秀賞2点)

□ 視聴覚教材等の貸出

自作視聴覚教材交流発表会及びコンクールの入賞作品や学習教材などのDVD、VHS教材を貸し出す。

(2023実績) 貸し出し実績 0点

(8) 施設利用の促進

利用者の安全と利便性向上を目指した施設の提供

☑利用実績 (2023実績)

利用人数	69,775人	(2022実績)	60,464人
開館日数	308日	(2022実績)	308日
平均人数/日	227人	(2022実績)	197人

令和5年度 センター利用者数

利用種別 月	事業			貸館				利用人数総計	
	主催事業等	ホール利用等	小計	生涯学習に関する事業を行う団体			その他の団体		小計
				教育団体	行政団体	その他			
4	3,013	225	3,238	520	24	816	950	2,310	5,548
5	3,027	216	3,243	779	100	685	1,049	2,613	5,856
6	3,746	286	4,032	712	0	628	1,596	2,936	6,968
7	3,131	241	3,372	648	0	731	1,228	2,607	5,979
8	2,691	185	2,876	602	30	650	1,486	2,768	5,644
9	3,262	250	3,512	517	0	990	1,583	3,090	6,602
10	3,814	173	3,987	401	0	1,006	2,129	3,536	7,523
11	3,904	213	4,117	768	0	821	1,895	3,484	7,601
12	2,453	150	2,603	100	0	597	1,046	1,743	4,346
1	1,856	168	2,024	401	0	413	872	1,686	3,710
2	3,247	193	3,440	257	60	663	1,919	2,899	6,339
3	1,542	151	1,693	22	20	515	1,409	1,966	3,659
計	35,686	2,451	38,137	5,727	234	8,515	17,162	31,638	69,775